

目次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

- ① 西九州大学大学院の現状把握・分析 ----- p. 2
- ② 地域・社会的動向等の現状把握・分析 ----- pp. 2-3
- ③ スポーツ科学専攻設置の趣旨目的、教育内容、定員設定等 ----- pp. 3-5
- ④ 学生確保の見通し ----- pp. 5-8
- ⑤ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果 ----- pp. 8-9

(2) 人材需要の動向等社会の要請

- ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） ----- pp. 9-10
- ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの
客観的な根拠 ----- pp. 10-11

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（以下「本専攻」という。）における学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況は以下の通りである。

① 西九州大学大学院の現状把握・分析

西九州大学（以下「本学」とする）は、佐賀県内唯一の私立4年制大学として、建学の精神である「健康と福祉の探究」を目指して教育研究を深化・発展させるため、社会福祉、精神保健福祉、介護福祉、臨床心理、教育・保育、管理栄養、理学療法、作業療法、看護の各分野において求められている専門職業人の養成に努めてきた。そして、地域の活性化の中核として発展することを目標に掲げ、地域自治体、地域産業界、ならびに地域社会と連携した教育研究活動を展開し、「地域に生活する人々への様々なかたちでの支援（生活支援）」を科学し、実践する高等教育機関として歩むことを謳い、そのような視点をもつ高度専門職業人を養成するために、「生活支援を科学し実践する大学」を志向し、大学院生活支援科学研究科を設置した。

近年の我が国においては、格差、排除、貧困、虐待、不登校、障害、傷病の増加など多様な生活・健康・教育における様々な歪みが生じており、これらの様々な生活課題に対応するため、本学は大学院の整備を進め、現在、社会福祉学分野、栄養学分野、臨床心理学分野、教育学分野、リハビリテーション学分野、看護学分野の充実を図ってきた。健康問題の課題解決にはスポーツ科学が果たす役割は大きい。また、スポーツ現場においては、理論的・科学的根拠に基づくスポーツ選手の育成や指導も必要不可欠である。これらの役割を担い、高度で専門的な能力を有する人材の育成のために、スポーツ科学分野の大学院の整備は必要であると考えられる。

本研究科における平成30年度から令和4年度の過去5年定員充足率は9割を超えている。専攻別に見ると、栄養学専攻（博士前期課程）ならびに子ども学専攻が5割未満と未充足である。しかし、栄養学専攻は博士後期課程を令和4年度に新設し定員充足しており、今後の充足に期待ができる。一方、子ども学専攻は教員採用試験合格者の増加傾向が大学院進学者減少の一要因であることが予想されるため、現学部生への当該専攻の魅力発信と学部卒業生へのアプローチ強化が必要である。なお、臨床心理学専攻とリハビリテーション学専攻は過去5年間定員充足を達成しており、令和4年度の定員充足率については、臨床心理学専攻は2.0倍、リハビリテーション学専攻は1.33倍であり、過去5年をみても安定して学生を確保できている。設置の趣旨、並びに次節でも記述するが、本学の所在地である佐賀県では、スポーツの機運が高まっており、スポーツに対する関心が高い。スポーツ科学分野の専攻設置は、既存専攻とともに安定的な学生確保が期待出来る。

② 地域・社会的動向等の現状把握・分析

本学の所在地である佐賀県は、佐賀から世界に挑戦するトップアスリートを育成する

SAGA スポーツピラミッド構想（SSP 構想）に平成 30（2018）年から取り組んでいる。この構想は、トップアスリートの育成と県民がスポーツの「する」「育てる」「観る」「支える」のいずれかに何かしらの形で関わり、スポーツ文化の裾野を広げることも目的としている。本学は、令和 3（2021）年 12 月に本構想に係る事業推進における連携協定を締結（「設置の趣旨等を記載した書類」資料 7）し、西九州大学健康福祉学部スポーツ健康福祉学科（以下、「スポーツ健康福祉学科」とする）を中心に支援を行うこととした。同年 11 月には、現在、日本プロバスケットボールリーグの 2 部（B2）に所属するチーム「佐賀バルナーズ」を運営する株式会社サガスポーツクラブとの連携協定も締結（「設置の趣旨等を記載した書類」資料 8）しており、ジュニア層におけるスポーツ科学支援に着手している。

また、佐賀県では令和 6（2024）年に国民スポーツ大会（現、国民体育大会）・全国障害者スポーツ大会の開催を控えていることもあり、県内におけるスポーツへの機運が高まっている。これらを契機として、学校を含めた地域のスポーツ現場において理論的・科学的根拠に基づくスポーツ選手の育成や指導、健康づくり、生涯スポーツなどをいかに推進し支援していくのか、将来を見据えたあり方の構築が求められている。

こうした情勢と上述した本学大学院の教育の理念・目標に鑑み、スポーツ現場における様々な問題や課題に対して、スポーツ科学における高度な知識と実践力を有したリーダーとして解決に取り組み、その成果を広く発信する能力を備えた高度専門職業人を養成する目的でスポーツ科学専攻修士課程の設置が必要である。

③ スポーツ科学専攻設置の趣旨目的、教育内容、定員設定等

A. スポーツ科学専攻がどのように貢献できるか

本学は、令和 3（2021）年度に佐賀県 SSP 構想を推進するための連携協定、及びプロスポーツ（B2 佐賀バルナーズ）とも地域スポーツの推進やトップアスリート支援のための連携協定を締結し、佐賀県のスポーツ振興の中核として具体的施策を計画進行している。また、スポーツ健康福祉学科では健康やスポーツ分野の専門領域を「地域スポーツ支援」「競技スポーツ支援」「スポーツ教育支援」で示し、専門科目を学ぶ目的を明確にするとともに履修モデルとして位置付けている。また、それぞれ取得できる専門資格を明確にするとともに、本専攻で目指す「高度地域スポーツ指導者育成」「トップアスリート指導者育成」「高度保健体育教員育成」の人材像も学科の教育課程と系統的に体系化している（「設置の趣旨等を記載した書類」資料 21）。

このように、スポーツ健康福祉学科では健康やスポーツ分野における知識と指導実践力を主に培い、それを基に本専攻では研究ベースで理論と指導実践の往還を目指し、学部・学科教育課程との有機的な接続によって高度な専門知識を修得するとともに、「地域スポーツ支援」「競技スポーツ支援」「スポーツ教育支援」の各領域における活動現場と密接に接続しながら高度専門職業人を育成することを計画している。地域の現状も把握が可能であり、現場での対応力となる。

B. 定員設定の理由

今回、設置認可申請を行う本専攻の入学定員の設定に際しては、本専攻の基礎となる学部・学科であるスポーツ健康福祉学科における大学院進学者の実績、競合する近隣のスポーツ系大学院の入学定員、及びスポーツ健康福祉学科在学学生等へのアンケート調査の結果も踏まえ、入学定員を2名と設定した。

平成26(2014)年度に設置したスポーツ健康福祉学科においては、これまで計4期の卒業生においてすでに大学院進学者を輩出している。平成29(2017)年度卒業生から3名、平成30(2018)年度卒業生から1名、平成31/令和元(2019)年度卒業生から1名、令和2(2020)年度卒業生から2名、及び令和3(2021)年度から1名が大学院に進学しており、毎年2名程度の大学院進学者がいる状況である。さらに本専攻は、養成する人材像、教育研究内容及び取得可能な資格等を広く募集広報し、他大学の出身者や現に専門職に就いている社会人にも本専攻の特色をアピールすることにより、基礎となるスポーツ健康福祉学科の卒業生以外にも志願者を得ることが可能であると考えられる。次節「エ. 学生確保の見通し」で後述するように、本専攻においては本学等の在学学生(令和3年度の3年生)に5名の進学意向がみられることから、入学定員2名の確保は十分可能であると見込まれる。

以上の状況を踏まえると、本専攻の入学定員を2名とすることが妥当であると判断される。

C. 今、スポーツ科学専攻を設置しなければいけない理由

スポーツ基本法の規定を基にした第3期スポーツ基本計画(令和4(2022)年4月策定予定)の中間報告では、今後のスポーツ政策の視点として、今後の人口減少と高齢化の進行によるスポーツ参画者とそれを支える担い手の不足、学校部活動や地域におけるスポーツ・運動環境の維持の困難さ、地域間格差の拡大に対する懸念が示されている。また、地方創生政策である第2期まち・ひと・しごと創成総合戦略に「スポーツ・健康まちづくり」が位置づけられているように、あらゆる世代のスポーツ機会の確保とスポーツを活用した健康増進や地方創生の取り組みなどに大きな期待が集まっていることや、Society 5.0時代の到来による人々の「働き方」や「生活様式」などのライフスタイルの大きな変化に応じるべく、デジタル化など先端技術を取り入れたスポーツの推進を図るとともに、Sport in Lifeの理念に基づき、毎日の生活の中でスポーツに親しむ時間や環境を確保することが求められている。

先述したように現在、本学では佐賀県 SSP 構想を推進するための連携協定、及びプロスポーツ(B2佐賀バルナーズ)とも地域スポーツの推進やトップアスリート支援のための連携協定を締結し、佐賀県のスポーツ振興の中核として具体的施策を計画進行しているところである。社会から希求されている高度専門職業人を養成するために、本スポーツ科学専攻修士課程を設置する必要がある。

D. スポーツ科学専攻の入学金、授業料等の学生納付金の額と設定根拠

学生納付金を設定する際には、できる限り学生負担の軽減をしつつ、教育研究の充実と研究条件及び環境を維持・継続するために必要な金額を設定している。

本専攻における学生納付金を設定する上では、本専攻が研究対象とする中心的な学問分野に近いスポーツ系大学院で近隣の私立大学 2 校を参考にした。福岡大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻の令和 3 年度学生納付金は初年次 838,100 円、及び 2 年次は 718,100 円であり、九州共立大学大学スポーツ学研究科スポーツ学専攻の令和 3 年度学生納付金は初年次 925,930 円、及び 2 年次は 749,930 円であった。

上記のような近隣の競合校における学生納付金の状況を踏まえ、本専攻の初年度納付金は 827,200 円、2 年次以降は 627,200 円とする。スポーツ科学研究を志す者が経済的負担から大学院進学を躊躇することがないように、近隣の競合校よりも低額の学費にすることで地域においてスポーツ系修士課程への進学を希望する者を支援することとした。次節「⑤ 学生確保の見通し」で示すアンケート調査の結果からも、大学院へ進学するうえで「授業料」や「生活費」という経済的要因を負担とする回答が多く（問 6）、これらの負担感を踏まえた妥当な学生納付金の設定額と判断される。

④ 学生確保の見通し

A. 学生確保の見通しの調査結果

学生確保の見通し等を検討するため、本専攻の基礎となる学部・学科である本学スポーツ健康福祉学科の 1 年生から 4 年生、及びスポーツ健康福祉学科卒業生のうち教職に従事している者を対象とするアンケート調査を実施した。さらに、本専攻が進学先の選択肢となり得ると考えられることから、佐賀大学教育学部学校教育課程小中連携教育コース中等教育主免専攻の 1 年生から 4 年生、及びその卒業生のうち教職に従事している者も対象とし、同様のアンケート調査を実施した。卒業生へのアンケート調査が卒業生の教職従事者を対象とした理由は、本専攻において保健体育の専修免許状を取得可能（教職課程認定申請中）としていることによる。いずれの調査も「設置を計画している大学院の概要」として、開設年度、組織名称（仮称）、学位名称、養成する人材像、修業年限、定員、設置場所、学生納付金（入学金・授業料）、社会人入学性への配慮、及び競合校を明示したうえで、Google フォームによる web 調査として実施した。なお、メールにてアンケート調査への協力を求め、令和 4（2022）年 11 月から 12 月に回答を依頼した（資料 1）（資料 2）。

本学スポーツ健康福祉学科の 1 年生から 4 年生を対象としたアンケート調査では、1 年生 13 名、2 年生 4 名、3 年生 7 名、4 年生 5 名の計 29 名（男子 22 名、女子 7 名）より回答を得た。大学院への進学についての興味を尋ねた設問（問 4）に対しては、「大いに興味がある」が 13.8%（4 名）、「少し興味がある」が 24.1%（7 名）で、おおよそ 3 人に 1 人が大学院進学に興味を持っていることが分かった。大学院進学に興味を有する者を対象に、本専

攻に魅力を感じるか尋ねたところ（問7）、「大いに感じる」が54.5%（6名）、「少し感じる」が36.4%（4名）であり、大学院進学に興味を有する者のうち9割以上が本専攻に魅力を感じていることが判明した。また、入学の意思を明確に確認するための設問（問8）に対しては、「はい」が72.7%（8名）であり、大学院進学に興味を有する者のうち7割以上の者に入学の意思があることが確認できた。なお、本専攻は令和6（2024）年度の設置を予定していることから、第1期の入学対象者となる令和3年度の3年生では2名から入学の意思があるとの回答が得られ、2年生（第2期入学対象者）からは1名、1年生（第3期入学対象者）からは4名が入学の意思ありと回答した。

また、佐賀大学教育学部学校教育課程小中連携教育コース中等教育主免専攻の1年生から4年生を対象としたアンケート調査では、1年生2名、2年生6名、3年生8名、4年生6名の計22名（男子12名、女子10名）より回答を得た。大学院への進学についての興味を尋ねた設問（問4）に対しては、「大いに興味がある」が18.2%（4名）、「少し興味がある」が50.0%（11名）で、おおよそ7割弱の者が大学院進学に興味を持っていることが分かった。大学院進学に興味を有する者を対象に、本専攻に魅力を感じるか尋ねたところ（問7）、「大いに感じる」が46.7%（7名）、「少し感じる」が53.3%（8名）であり、大学院進学に興味を有する者の全員が本専攻に魅力を感じていることが判明した。また、入学の意思を明確に確認するための設問（問8）に対しては、「はい」が66.7%（10名）であり、大学院進学に興味を有する者のうち7割弱の者に入学の意思があることが確認できた。なお、本専攻において第1期入学対象者となる令和3年度の3年生からは3名、2年生（第2期入学対象者）は2名、1年生（第3期入学対象者）は1名より入学の意思があるとの回答が得られた。

以上、本学スポーツ健康福祉学科及び佐賀大学教育学部学校教育課程小中連携教育コース中等教育主免専攻の在学生を対象としたアンケート調査の結果から、本専攻へ魅力を感じ入学の意思を有する学生が経年的に一定の規模で存在しており、安定して学生の確保を図ることが可能であると判断される。

これらの調査結果を踏まえ、さらに、学生確保の見通し等を重層的・多面的に検討するため、本専攻において保健体育の専修免許状を取得可能（教職課程認定申請中）としていることから、本学スポーツ健康福祉学科、及び佐賀大学教育学部学校教育課程小中連携教育コース中等教育主免専攻の卒業生のうち教職に従事している者を対象とするアンケート調査も行った。

本学スポーツ健康福祉学科の卒業生（教職従事者）を対象としたアンケート調査では、平成30（2018）年度卒業生1名、平成31/令和元（2019）年度卒業生2名、令和2（2020）年度卒業生3名、及び令和3（2021）年度卒業生9名の計15名（男子6名、女子9名）より回答を得た。大学院への進学についての興味を尋ねた設問（問4）に対しては、「大いに興味がある」が13.3%（2名）、「少し興味がある」が40.0%（6名）で、おおよそ2人に1人が大学院進学に興味を持っていることが分かった。大学院進学に興味を有する者を対象

に、本専攻に魅力を感じるか尋ねたところ（問7）、「大いに感じる」と「少し感じる」がそれぞれ50.0%（4名）であり、大学院進学に興味を有する者の全員が本専攻に魅力を感じていることが判明した。また、入学の意思を明確に確認するための設問（問8）に対しては、「はい」が62.5%（5名）であり、大学院進学に興味を有する者のうち6割強の者に入学の意思があることが確認できた。なお、その内訳は平成30（2018）年度卒業生0名、平成31／令和元（2019）年度卒業生1名、令和2（2020）年度卒業生1名、及び令和3（2021）年度卒業生3名であった。

また、佐賀大学教育学部学校教育課程小中連携教育コース中等教育主免専攻の卒業生（教職従事者）を対象としたアンケート調査では、平成30（2018）年度卒業生4名、平成31／令和元（2019）年度卒業生3名、令和2（2020）年度卒業生8名、及び令和3（2021）年度卒業生1名の計16名（男子9名、女子7名）より回答を得た。大学院への進学についての興味を尋ねた設問（問4）に対しては、「大いに興味がある」が6.3%（1名）、「少し興味がある」が81.3%（13名）で、程度の差はあるものの、およそ9割弱の者が大学院進学に興味を持っていることが分かった。大学院進学に興味を有する者を対象に、本専攻に魅力を感じるか尋ねたところ（問7）、「大いに感じる」が21.4%（3名）、「少し感じる」が42.9%（6名）であり、大学院進学に興味を有する者のうち6割以上が本専攻に魅力を感じていることが判明した。また、入学の意思を明確に確認するための設問（問8）に対しては、「はい」が28.6%（4名）であり、大学院進学に興味を有する者のおおよそ3人に1人が入学の意思を有していることが確認できた。なお、その内訳は平成30（2018）年度卒業生0名、平成31／令和元（2019）年度卒業生1名、令和2（2020）年度卒業生2名、及び令和3（2021）年度卒業生1名であった。

以上、本学スポーツ健康福祉学科及び佐賀大学教育学部学校教育課程小中連携教育コース中等教育主免専攻の卒業生のうち教職に従事している者を対象としたアンケート調査の結果によると、本専攻へ魅力を感じ入学の意思を有する卒業生の教職従事者が各年度に存在していることが確認され、安定した学生確保の一要素となり得ると考えられた。

B. スポーツ科学専攻修士課程の分野の動向

九州北部においてスポーツ科学系の研究科・専攻を設置している大学院としては、福岡大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻、及び九州共立大学大学院スポーツ学研究科スポーツ学専攻が挙げられる。次項「C. 競合校の状況」で示すように、いずれも高い定員充足率で推移している。一方、佐賀大学大学院学校教育学研究科教育実践探究専攻、及び福岡教育大学大学院教育学研究科教職実践専攻などの教職大学院も設置されているが、両大学院は教員養成に特化した専門職大学院であり、スポーツ科学に特化したカリキュラムが設定されているわけではない。また、久留米大学及び九州産業大学においてはスポーツ系学部が設置されているものの、スポーツ科学を専攻する大学院は未だ有していない。さらに、熊本学園大学及び長崎国際大学においても、それぞれ社会福祉学及びスポー

ツツアーリズムの観点からスポーツについて学ぶことが可能ではあるものの、スポーツ科学を基礎として直結する大学院は設置されておらず、高い進学ニーズに応える環境が十分に整備されているとは言えない。

C. 競合校の状況

九州内のスポーツ系大学院のうち、本専攻の競合校として考えられる研究科・専攻について、令和2(2020)、令和3(2021)、及び令和4(2022)年度の定員充足状況を調査した(資料3)。九州北部に所在する2校の私立校(福岡大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻、及び九州共立大学大学院スポーツ学研究科スポーツ学専攻)の過去3年間における定員充足率の平均値はそれぞれ91.7%、100.0%である。また、教職大学院としては、佐賀大学大学院学校教育学研究科教育実践探究専攻、及び福岡教育大学大学院教育学研究科教職実践専攻がある。両校はいずれも高い定員充足率(それぞれ100.0%、96.0%)で推移しており、九州北部地区における中学校・高等学校教諭専修免許状(保健体育)に対するニーズの高さを示している。

以上のように、九州内におけるスポーツ系大学院の定員充足状況は高い水準で推移し、堅調な志願動向がみられることから、非常に高いニーズがあることが伺える。

D. 既設学部等の学生確保の状況

本専攻の基礎学部となるスポーツ健康福祉学科の令和4年度の収容定員充足率は0.95であり、平成26年の開設時より入学希望者は多い。スポーツ分野に関心を持つ高校生は多く、また、卒業後の進路に至っては大学院進学の実績もある。上述したアンケート結果が示すように本専攻2名の定員は十分に充足できるものと考えられる。

本学のリハビリテーション学部リハビリテーション学科(理学療法学専攻:定員40名、作業療法学専攻:定員40名)は、平成19(2007)年に開設し本年で16年目を迎え、これまで800名以上の理学療法士(PT)、作業療法士(OT)を輩出した。本学のOTにおいて平成30~令和4年度の5年間の平均入学定員超過率は0.60に落ち込み、収容定員充足率においては、平成30年度は0.92、令和元年度は0.83と年々低下しており、令和4年度は0.56に落ち込んだ。しかしながらこの現象は本学だけではなく、全国200校のOT養成校も同様である。

本学の健康福祉学部社会福祉学科においては平成30年~令和4年度の収容定員充足率は0.6前後を推移しており、令和4年度における収容定員充足率は0.50まで落ち込み、その対策に注力している状況である。志願者減少の背景として、近年の福祉現場に対する偏った報道によって福祉の仕事は「3K(きつい、汚い、危険)」というイメージが定着したことで若者の福祉離れが進んだことが大きい。社会福祉系学科の志願者減少は全国の大学で進み、募集定員の削減あるいは募集停止に踏み切った大学も多い。とくに、本学の位置する九州圏では、社会福祉士養成校協会に加盟している養成校が計32校もあり、少ない志願者を大学間

で奪い合う状況となっている。

⑤ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

学内関係部署との密接な連携のもとに、大学院進学相談会をはじめとした組織的な広報活動に取り組む。また、学生募集とともに社会的認知を向上させるためにも、具体的な学びと将来像の可能性についての広報活動を行う。具体的には、パンフレットを作成し、関連の学会や人的ネットワークを活用して、本専攻の教育理念や人材育成の目的等について、積極的に進学を検討する可能性の高い近隣のスポーツ系の大学、保健体育科教員、及び研究機関等に訴求する。あわせて、大学案内パンフレットや大学の入試サイトへの掲載、ホームページのさらなる充実を図る。

既設のリハビリテーション学部リハビリテーション学科（理学療法学専攻：定員 40 名、作業療法学専攻：定員 40 名）において、令和 4 年度の収容定員充足率が 0.56 に落ち込んだ要因として考えられることは、作業療法という名称からくる偏見である。臨床では PT も OT も業務内容に変わりがないが、受験生はリハビリテーションと言えば理学療法士を想像し、作業療法士は作業をする人たちと思い込んでいる。そのために、本学で実施しているオープンキャンパスや高校訪問では受験生に理学療法士・作業療法士の正しい概念をアピールしている。今後は PT 出身の国会議員や日本作業療法士協会に働きかけ、PT、OT の資格名称の変更「リハビリテーションセラピスト」とすることを考えている。

既設学部の社会福祉学科では定員確保に向けた対策として、(1) カリキュラムを改革し、「子ども・教育系」「医療・精神保健系」「生活支援系」「地域支援系」として履修モデルを提示し、大学での学び卒業後の職業や「しごと」との関連性を強める内容とした。また、新たに「園芸療法士」の養成も開始した。(2) 演習や臨床場面を取り入れたプログラムを導入したオープンキャンパスやリニューアルした大学 HP と SNS を用いた広報活動の強化、(3) 佐賀県社会福祉協議会や佐賀県高等学校教育研究会福祉部会との共催事業を進めるなど地域との連携強化、(4) 多様な福祉分野の第一線で活躍している 5,000 名を超える卒業生の人的資産を生かした就職支援、及び (5) 海外からの短期・長期の留学生受入れの強化、などを強力に進めている。少子高齢化、核家族化、生活スタイルや価値観の多様化により、福祉に対する社会的ニーズは高まっている。本学社会福祉学科は、保健・医療・福祉関連の他学科と連携し、これまでのイメージを変えるような魅力ある社会福祉が学べる学部学科の再構成を検討し、定員充足を目指している。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

「設置の趣旨等を記載した書類」における「① 設置の趣旨および必要性」の「ウ. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」及び「エ. どのような人材を養成するか」の項目で説明したとおり、今回、設置認可を申請する本専攻は、下記の 4 つを学位授与方針

(ディプロマ・ポリシー) とするものである。

《学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー) 》

- 1) スポーツによる共生社会の実現に貢献する上で、国際的な視点を持ち、他の生活支援科学研究科の学域とも協働し、包括的な生活支援を行う能力を身につけている。
- 2) スポーツ科学の専門領域において必要とする専門性の高い知識を修得し、人々のスポーツニーズに応え得る能力を身につけている。
- 3) スポーツや健康運動を通してそれぞれの職域で貢献できる知識とリーダー的実践能力を身につけている。
- 4) スポーツ領域の学術的な力と倫理観を併せ持つ研究的能力を身につけている。

これらの学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー) を踏まえ、本専攻においては、自身の専門分野を基軸として、広範なスポーツ科学の専門的知識を体系化することができ、自らの研究成果を基に理論的な指導・支援法を確立し、さらに、それらを教授できる高度な実践力を有する人材を育成することとし、下記の3つの具体的な人材像を掲げている。

1) 地域スポーツ支援領域で貢献し得る人材像

子どもから高齢者、障がいのある人を含めたすべての人が運動やスポーツを通して生きがいや健康を向上させ、生活を豊かにするための指導・支援ができる人材。

2) 競技スポーツ支援領域で貢献し得る人材像

アスリートのパフォーマンス向上に関わるスポーツ科学への深い理解とエビデンスを活用したコーチングやトレーニングの分野で指導・支援ができる人材。

3) スポーツ教育支援領域で貢献し得る人材像

教育現場においてスポーツ参与の魅力と重要性を伝えることができ、スポーツの科学的根拠に基づいた指導・支援ができる人材。

以上のとおり、4つの学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー) のもと、3つの具体的な人材像に沿った人材を養成することが本専攻の目的である。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本専攻が、社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることを明確にするため、人材需要の観点を中心とするアンケート調査を実施した。

このアンケート調査は、本専攻の基礎となる学部・学科である本学スポーツ健康福祉学科の卒業生の就職先企業・団体から14社・団体を抽出して調査の対象とし、メールにてアンケート調査への協力を求め、令和4(2022)年12月にGoogleフォームによるweb調査として実施した。回収数は9であり、有効回答率は64.3%であった。このアンケート調査においても、「設置を計画している大学院の概要」として、開設年度、組織名称(仮

称)、学位名称、養成する人材像、修業年限、定員、設置場所、学生納付金（入学料・授業料）、社会人入学性への配慮、及び競合校を明示したうえで調査を実施した（資料4）（資料5）。

回答を寄せた企業・団体の業種分布（問1）は、「スポーツ関連」が3で最も多く、「教育関連」と「社会教育・生涯学習関連」がそれぞれ2、及び「健康フィットネス関連」と「医療・福祉関連」がそれぞれ1であった。本専攻に対する興味・関心の程度を尋ねた問い（問2）に対して、66.7%（6社・団体）が「大いに興味・関心がある」、33.3%（3社・団体）が「少し興味・関心がある」と回答した。9社・団体のすべてより肯定的な回答が寄せられ、本専攻が想定する進路先の業種にとって本専攻が興味・関心の対象となることが明らかになった。さらに、人材需要を明確に確認するため、本専攻修了生に対する採用意向を尋ねたところ（問3）、「採用対象になる」と「おそらく採用対象になる」を合わせると88.9%（8社・団体）に達し、本専攻修了後の進路先として想定される業種への就職が高い割合で実現可能であることが示された。

以上、本学スポーツ健康福祉学科卒業生の就職先企業・団体を対象とする人材需要に関するアンケート調査の結果から、回収数は少ないながらも本専攻で養成しようとする人材への需要が存在していることが明らかになった。

(資料 1)

学生の確保の見通しに関するアンケート (調査内容)

学生確保の見通し等を検討するため、本専攻の基礎となる学部・学科である本学健康福祉学部スポーツ健康福祉学科の在学生、及びその卒業生のうち教職に従事している者を対象とするアンケート調査を実施した。さらに、佐賀大学教育学部学校教育課程小中連携教育コース中等教育主免専攻の在学生、及びその卒業生のうち教職従事者にも同様の調査を実施した。本調査は Google フォームによる web 調査として実施し、対象者にメールにて協力を求め、令和 4 (2022) 年 11~12 月の間に回答を依頼した。以下、その詳細について「1. 協力依頼メール」「2. アンケート調査項目」の順に示す。

1. 協力依頼メール

件名：

「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程 (仮称)」の設置に関するアンケートについて (ご協力をお願い)

本文：

本学では、大学院にスポーツ系の修士課程の設置を構想しており、地域における修士号取得の需要について調査したいと考えています。本調査で知り得た情報は他の目的に使用することは一切なく、無記名式で個人が特定されることはありません。つきましては、下記の「設置を計画している大学院の概要」をご覧ください。アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

【設置を計画している大学院の概要】(現在計画中の予定であり、変更することもあります。)

- (1) 開設年度： 令和 6 (2024) 年 4 月
- (2) 組織名称 (仮称)： 生活支援科学研究科 スポーツ科学専攻 修士課程
- (3) 学位名称： 修士 (スポーツ科学)
- (4) 養成する人材像： 本専攻は、スポーツに対する科学的な知識と実践力を持ち、すべての人に対して生涯にわたってスポーツを活用した豊かな生活を支援できる高度専門職業人を養成する。
- (5) 修業年限： 2 年
- (6) 定員： 2 名 (収容定員 4 名: 男女共学)
- (7) 設置場所： 佐賀県神崎市神埼町尾崎 4490-9 (西九州大学神埼キャンパス内)
- (8) 学生納付金： 入学料 200,000 円、授業料 610,000 円
- (9) 社会人学生への配慮： 平日夜間と土日の受講のみでほとんどの単位が取得可能
- (10) 競合校： 福岡大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻
九州共立大学大学院スポーツ学研究科スポーツ学専攻

2. アンケート調査項目

ア. 対象：西九州大学健康福祉学部スポーツ健康福祉学科在学生

本専攻に関する下記の質問事項等について、該当する選択肢を選んでください。

問1. あなたの性別についてお伺いします。

1. 男性
2. 女性

問2. あなたの学年についてお伺いします。

1. 1年生
2. 2年生
3. 3年生
4. 4年生

問3. 健康福祉学部スポーツ健康福祉学科で学習した内容をより深く学び研究したい、と思ったことはありますか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

問4. あなたは大学院への進学について興味がありますか。

1. 大いに興味がある
2. 少し興味がある → 問5へお進みください
3. あまり興味がない
4. 全く興味がない → 問10へお進みください

問5. 大学院へ進学するうえで関心があることは何ですか（複数回答可）。

1. 専門的知識・技術を身につけられる
2. 修士の学位を取得できる
3. 専修免許（保健体育）を取得できる
4. 競技活動を継続できる
5. 就職の際に有利になる
6. その他

問6. 大学院へ進学するうえで負担になるものは何ですか（複数回答可）。

1. 入学試験
2. 授業料
3. 生活費
4. 時間的拘束
5. 修士論文
6. 修了後の進路
7. その他

以下は、現在計画中の「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」についてお尋ねします。

問7. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に魅力を感じますか。

1. 大いに感じる
2. 少し感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

問8. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学したいと思いませんか。

1. はい
2. いいえ

問9. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学した場合、その後の進路はどう考えていますか。

1. 中学校・高等学校の教員
2. 公務員
3. 研究職（大学院博士後期課程への進学を含む）
4. スポーツ関連企業・健康フィットネス関連企業
5. 上記4以外の一般企業
6. その他

問10. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

アンケート調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

イ. 対象：佐賀大学教育学部学校教育課程小中連携教育コース中等教育主免専攻在学生
本専攻に関する下記の質問事項等について、該当する選択肢を選んでください。

問1. あなたの性別についてお伺いします。

1. 男性 2. 女性

問2. あなたの学年についてお伺いします。

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生

問3. 大学で学習した内容をより深く学び研究したい、と思ったことはありますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

問4. あなたは大学院への進学について興味がありますか。

1. 大いに興味がある 2. 少し興味がある → 問5へお進みください
3. あまり興味がない 4. 全く興味がない → 問10へお進みください

問5. 大学院へ進学するうえで関心があることは何ですか（複数回答可）。

1. 専門的知識・技術を身につけられる
2. 修士の学位を取得できる
3. 専修免許（保健体育）を取得できる
4. 競技活動を継続できる
5. 就職の際に有利になる
6. その他

問6. 大学院へ進学するうえで負担になるものは何ですか（複数回答可）。

1. 入学試験 2. 授業料 3. 生活費
4. 時間的拘束 5. 修士論文 6. 修了後の進路
7. その他

以下は、現在計画中の「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」についてお尋ねします。

問 7. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に魅力を感じますか。

1. 大いに感じる
2. 少し感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

問 8. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学したいと思いませんか。

1. はい
2. いいえ

問 9. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学した場合、その後の進路はどう考えていますか。

1. 中学校・高等学校の教員
2. 公務員
3. 研究職（大学院博士後期課程への進学を含む）
4. スポーツ関連企業・健康フィットネス関連企業
5. 上記 4 以外の一般企業
6. その他

問 10. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

アンケート調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

ウ. 対象：西九州大学健康福祉学部スポーツ健康福祉学科卒業生

本専攻に関する下記の質問事項等について、該当する選択肢を選んでください。

問 1. あなたの性別についてお伺いします。

1. 男性 2. 女性

問 2. あなたの卒業年度についてお伺いします。

1. 令和 3(2021)年度 2. 令和 2(2020)年度
3. 平成 31/令和元(2019)年度 4. 平成 30(2018)年度
5. 平成 29(2017)年度 6. その他

問 3. 健康福祉学部スポーツ健康福祉学科で学習した内容をより深く学び研究したい、と思ったことはありますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

問 4. あなたは大学院への進学について興味がありますか。

1. 大いに興味がある 2. 少し興味がある → 問 5へお進みください
3. あまり興味がない 4. 全く興味がない → 問 10へお進みください

問 5. 大学院へ進学するうえで関心があることは何ですか（複数回答可）。

1. 専門的知識・技術を身につけられる
2. 修士の学位を取得できる
3. 専修免許（保健体育）を取得できる
4. 競技活動を継続できる
5. 就職の際に有利になる
6. その他

問 6. 大学院へ進学するうえで負担になるものは何ですか（複数回答可）。

1. 入学試験 2. 授業料 3. 生活費
4. 時間的拘束 5. 修士論文 6. 修了後の進路
7. その他

以下は、現在計画中の「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」についてお尋ねします。

問7. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に魅力を感じますか。

1. 大いに感じる
2. 少し感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

問8. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学したいと思いませんか。

1. はい
2. いいえ

問9. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学した場合、その後の進路はどう考えていますか。

1. 中学校・高等学校の教員
2. 公務員
3. 研究職（大学院博士後期課程への進学を含む）
4. スポーツ関連企業・健康フィットネス関連企業
5. 上記4以外の一般企業
6. その他

問10. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

アンケート調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

エ. 対象：佐賀大学教育学部学校教育課程小中連携教育コース中等教育主免専攻卒業生
本専攻に関する下記の質問事項等について、該当する選択肢を選んでください。

問 1. あなたの性別についてお伺いします。

1. 男性
2. 女性

問 2. あなたの卒業年度についてお伺いします。

1. 令和 3(2021)年度
2. 令和 2(2020)年度
3. 平成 31/令和元(2019)年度
4. 平成 30(2018)年度
5. 平成 29(2017)年度
6. その他

問 3. 大学で学習した内容をより深く学び研究したい、と思ったことはありますか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

問 4. あなたは大学院への進学について興味がありますか。

1. 大いに興味がある
2. 少し興味がある → 問 5へお進みください
3. あまり興味がない
4. 全く興味がない → 問 10へお進みください

問 5. 大学院へ進学するうえで関心があることは何ですか（複数回答可）。

1. 専門的知識・技術を身につけられる
2. 修士の学位を取得できる
3. 専修免許（保健体育）を取得できる
4. 競技活動を継続できる
5. 就職の際に有利になる
6. その他

問 6. 大学院へ進学するうえで負担になるものは何ですか（複数回答可）。

1. 入学試験
2. 授業料
3. 生活費
4. 時間的拘束
5. 修士論文
6. 修了後の進路
7. その他

以下は、現在計画中の「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」についてお尋ねします。

問7. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に魅力を感じますか。

1. 大いに感じる
2. 少し感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

問8. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学したいと思いませんか。

1. はい
2. いいえ

問9. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学した場合、その後の進路はどう考えていますか。

1. 中学校・高等学校の教員
2. 公務員
3. 研究職（大学院博士後期課程への進学を含む）
4. スポーツ関連企業・健康フィットネス関連企業
5. 上記4以外の一般企業
6. その他

問10. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

アンケート調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

(資料2)

学生の確保の見通しに関するアンケート（集計表）
（対象：西九州大学健康福祉学部スポーツ健康福祉学科在学生）

問1. あなたの性別についてお伺いします。

1. 男性 2. 女性

回答選択肢	1	2	無回答	計
回答数(名)	22	7	0	29
割合(%)	75.9	24.1	0.0	100.0

問2. あなたの学年についてお伺いします。

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生

回答選択肢	1	2	3	4	無回答	計
回答数(名)	13	4	7	5	0	29
割合(%)	44.8	13.8	24.1	17.2	0.0	100.0

問3. 健康福祉学部スポーツ健康福祉学科で学習した内容をより深く学び研究したい、と思ったことはありますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

回答選択肢	1	2	3	無回答	計
回答数(名)	15	2	12	0	29
割合(%)	51.7	6.9	41.4	0.0	100.0

問4. あなたは大学院への進学について興味がありますか。

1. 大いに興味がある 2. 少し興味がある → 問5へ進む
3. あまり興味がない 4. 全く興味がない → 問10へ進む

回答選択肢	1	2	3	4	無回答	計
回答数(名)	4	7	10	8	0	29
割合(%)	13.8	24.1	34.5	27.6	0.0	100.0

問 5. 大学院へ進学するうえで関心があることは何ですか（複数回答可）。

1. 専門的知識・技術を身につけられる
2. 修士の学位を取得できる
3. 専修免許（保健体育）を取得できる
4. 競技活動を継続できる
5. 就職の際に有利になる
6. その他（具体的に記載してください）

回答選択肢	1	2	3	4	5	6
回答数(名)	9	6	6	2	3	0

問 6. 大学院へ進学するうえで負担になるものは何ですか（複数回答可）。

1. 入学試験
2. 授業料
3. 生活費
4. 時間的拘束
5. 修士論文
6. 修了後の進路
7. その他（具体的に記載してください）

回答選択肢	1	2	3	4	5	6	7
回答数(名)	2	10	7	1	4	5	0

問 7. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に魅力を感じますか。

1. 大いに感じる
2. 少し感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

回答選択肢	1	2	3	4	無回答	計
回答数(名)	6	4	1	0	0	11
割合(%)	54.5	36.4	9.1	0.0	0.0	100.0

問 8. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学したいと思いますか。

1. はい
2. いいえ

回答選択肢	1	2	無回答	計
回答数(名)	8	3	0	11
割合(%)	72.7	27.3	0.0	100.0

問 9. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学した場合、その後の進路はどう考えていますか。

1. 中学校・高等学校の教員
2. 公務員
3. 研究職（大学院博士後期課程への進学を含む）
4. スポーツ関連企業・健康フィットネス関連企業
5. 上記 4 以外の一般企業
6. その他（具体的に記載してください）

回答選択肢	1	2	3	4	5	6
回答数(名)	4	0	2	4	0	1
※ 選択肢6「その他」の具体的な記載内容 ● わからない						

問 10. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

意見・要望等の記載内容 ● より詳しくお話を聞きたいです！ ● 具体的な研究分野などの説明や、進学に対するメリット、デメリットを教えてくださいたいです。博士課程も検討していただきたいです。
--

学生の確保の見通しに関するアンケート（集計表）

（対象：佐賀大学教育学部学校教育課程小中連携教育コース中等教育主免専攻在学生）

問1. あなたの性別についてお伺いします。

1. 男性 2. 女性

回答選択肢	1	2	無回答	計
回答数(名)	12	10	0	22
割合(%)	54.5	45.5	0.0	100.0

問2. あなたの学年についてお伺いします。

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生

回答選択肢	1	2	3	4	無回答	計
回答数(名)	2	6	8	6	0	22
割合(%)	9.1	27.3	36.4	27.3	0.0	100.0

問3. 大学で学習した内容をより深く学び研究したい、と思ったことはありますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

回答選択肢	1	2	3	無回答	計
回答数(名)	18	0	4	0	22
割合(%)	81.8	0.0	18.2	0.0	100.0

問4. あなたは大学院への進学について興味がありますか。

1. 大いに興味がある 2. 少し興味がある → 問5へ進む
 3. あまり興味がない 4. 全く興味がない → 問10へ進む

回答選択肢	1	2	3	4	無回答	計
回答数(名)	4	11	2	5	0	22
割合(%)	18.2	50.0	9.1	22.7	0.0	100.0

問 5. 大学院へ進学するうえで関心があることは何ですか（複数回答可）。

1. 専門的知識・技術を身につけられる
2. 修士の学位を取得できる
3. 専修免許（保健体育）を取得できる
4. 競技活動を継続できる
5. 就職の際に有利になる
6. その他（具体的に記載してください）

回答選択肢	1	2	3	4	5	6
回答数(名)	13	9	10	6	4	0

問 6. 大学院へ進学するうえで負担になるものは何ですか（複数回答可）。

1. 入学試験
2. 授業料
3. 生活費
4. 時間的拘束
5. 修士論文
6. 修了後の進路
7. その他（具体的に記載してください）

回答選択肢	1	2	3	4	5	6	7
回答数(名)	8	10	8	3	8	4	0

問 7. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に魅力を感じますか。

1. 大いに感じる
2. 少し感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

回答選択肢	1	2	3	4	無回答	計
回答数(名)	7	8	0	0	0	15
割合(%)	46.7	53.3	0.0	0.0	0.0	100.0

問 8. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学したいと思いますか。

1. はい
2. いいえ

回答選択肢	1	2	無回答	計
回答数(名)	10	5	0	15
割合(%)	66.7	33.3	0.0	100.0

問 9. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学した場合、その後の進路はどう考えていますか。

1. 中学校・高等学校の教員
2. 公務員
3. 研究職（大学院博士後期課程への進学を含む）
4. スポーツ関連企業・健康フィットネス関連企業
5. 上記 4 以外の一般企業
6. その他（具体的に記載してください）

回答選択肢	1	2	3	4	5	6
回答数(名)	9	1	1	2	0	2
※ 選択肢6「その他」の具体的な記載内容 ● 小学校の教員 ● 小学校教員						

問 10. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

意見・要望等の記載内容 ● 佐賀県内に体育学修士が取得できる大学院ができるのは良いことだと思います。 ● 特にありません
--

学生の確保の見通しに関するアンケート（集計表）
（対象：西九州大学健康福祉学部スポーツ健康福祉学科卒業生）

問 1. あなたの性別についてお伺いします。

1. 男性 2. 女性

回答選択肢	1	2	無回答	計
回答数(名)	6	9	0	15
割合(%)	40.0	60.0	0.0	100.0

問 2. あなたの卒業年度についてお伺いします。

1. 令和 3(2021)年度 2. 令和 2(2020)年度
 3. 平成 31/令和元(2019)年度 4. 平成 30(2018)年度
 5. 平成 29(2017)年度 6. その他

回答選択肢	1	2	3	4	5	6	無回答	計
回答数(名)	1	2	3	9	0	0	0	15
割合(%)	6.7	13.3	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問 3. 健康福祉学部スポーツ健康福祉学科で学習した内容をより深く学び研究したい、と思ったことはありますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

回答選択肢	1	2	3	無回答	計
回答数(名)	13	0	2	0	15
割合(%)	86.7	0.0	13.3	0.0	100.0

問 4. あなたは大学院への進学について興味がありますか。

1. 大いに興味がある 2. 少し興味がある → 問 5へ進む
 3. あまり興味がない 4. 全く興味がない → 問 10へ進む

回答選択肢	1	2	3	4	無回答	計
回答数(名)	2	6	6	1	0	15
割合(%)	13.3	40.0	40.0	6.7	0.0	100.0

問 5. 大学院へ進学するうえで関心があることは何ですか（複数回答可）。

1. 専門的知識・技術を身につけられる
2. 修士の学位を取得できる
3. 専修免許（保健体育）を取得できる
4. 競技活動を継続できる
5. 就職の際に有利になる
6. その他（具体的に記載してください）

回答選択肢	1	2	3	4	5	6
回答数(名)	5	5	5	1	0	0

問 6. 大学院へ進学するうえで負担になるものは何ですか（複数回答可）。

1. 入学試験
2. 授業料
3. 生活費
4. 時間的拘束
5. 修士論文
6. 修了後の進路
7. その他（具体的に記載してください）

回答選択肢	1	2	3	4	5	6	7
回答数(名)	1	8	3	2	3	1	0

問 7. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に魅力を感じますか。

1. 大いに感じる
2. 少し感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

回答選択肢	1	2	3	4	無回答	計
回答数(名)	4	4	0	0	0	8
割合(%)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問 8. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学したいと思いますか。

1. はい
2. いいえ

回答選択肢	1	2	無回答	計
回答数(名)	5	3	0	8
割合(%)	62.5	37.5	0.0	100.0

問 9. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学した場合、その後の進路はどう考えていますか。

1. 中学校・高等学校の教員
2. 公務員
3. 研究職（大学院博士後期課程への進学を含む）
4. スポーツ関連企業・健康フィットネス関連企業
5. 上記 4 以外の一般企業
6. その他（具体的に記載してください）

回答選択肢	1	2	3	4	5	6
回答数(名)	6	1	1	0	0	0

問 10. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

意見・要望等の記載内容

- 大賛成です！！いつか教職働きながら、行きたいなと思います。

学生の確保の見通しに関するアンケート（集計表）

（対象：佐賀大学教育学部学校教育課程小中連携教育コース中等教育主免専攻卒業生）

問 1. あなたの性別についてお伺いします。

1. 男性 2. 女性

回答選択肢	1	2	無回答	計
回答数(名)	9	7	0	16
割合(%)	56.3	43.8	0.0	100.0

問 2. あなたの卒業年度についてお伺いします。

1. 令和 3(2021)年度 2. 令和 2(2020)年度
 3. 平成 31/令和元(2019)年度 4. 平成 30(2018)年度
 5. 平成 29(2017)年度 6. その他

回答選択肢	1	2	3	4	5	6	無回答	計
回答数(名)	1	8	3	4	0	0	0	16
割合(%)	6.3	50.0	18.8	25.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問 3. 大学で学習した内容をより深く学び研究したい、と思ったことはありますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

回答選択肢	1	2	3	無回答	計
回答数(名)	14	0	2	0	16
割合(%)	87.5	0.0	12.5	0.0	100.0

問 4. あなたは大学院への進学について興味がありますか。

1. 大いに興味がある 2. 少し興味がある → 問 5へ進む
 3. あまり興味がない 4. 全く興味がない → 問 10へ進む

回答選択肢	1	2	3	4	無回答	計
回答数(名)	1	13	2	0	0	16
割合(%)	6.3	81.3	12.5	0.0	0.0	100.0

問5. 大学院へ進学するうえで関心があることは何ですか（複数回答可）。

1. 専門的知識・技術を身につけられる
2. 修士の学位を取得できる
3. 専修免許（保健体育）を取得できる
4. 競技活動を継続できる
5. 就職の際に有利になる
6. その他（具体的に記載してください）

回答選択肢	1	2	3	4	5	6
回答数(名)	13	8	5	0	2	0

問6. 大学院へ進学するうえで負担になるものは何ですか（複数回答可）。

1. 入学試験
2. 授業料
3. 生活費
4. 時間的拘束
5. 修士論文
6. 修了後の進路
7. その他（具体的に記載してください）

回答選択肢	1	2	3	4	5	6	7
回答数(名)	6	14	6	6	6	2	0

問7. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に魅力を感じますか。

1. 大いに感じる
2. 少し感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

回答選択肢	1	2	3	4	無回答	計
回答数(名)	3	6	4	1	0	14
割合(%)	21.4	42.9	28.6	7.1	0.0	100.0

問8. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学したいと思いますか。

1. はい
2. いいえ

回答選択肢	1	2	無回答	計
回答数(名)	4	10	0	14
割合(%)	28.6	71.4	0.0	100.0

問 9. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」に進学した場合、その後の進路はどう考えていますか。

1. 中学校・高等学校の教員
2. 公務員
3. 研究職（大学院博士後期課程への進学を含む）
4. スポーツ関連企業・健康フィットネス関連企業
5. 上記 4 以外の一般企業
6. その他（具体的に記載してください）

回答選択肢	1	2	3	4	5	6
回答数(名)	6	1	1	5	0	1
※ 選択肢6「その他」の具体的な記載内容 ● 小学校教諭						

問 10. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

意見・要望等の記載内容 ● すごく魅力的だと思います。 ● 心理や特支等の他の科目も履修できるとより魅力的に感じる。
--

(資料3)

近隣の競合する大学院の定員充足状況

大学名	所在地	基礎となる学部・学科名	研究科名	専攻名	課程	教員組織	入学定員 (名)			収容定員 (名)			入学者数 (名)			定員充足率 (%)		
							R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4
福岡大学	福岡	スポーツ科学部 スポーツ科学科 健康運動科学科	スポーツ健康科学研究科	スポーツ健康科学専攻	博士(前期)	教授：14 准教授：3 講師：1 助教：2	12	12	12	24	24	24	11	11	11	91.7	91.7	91.7
九州共立大学	福岡	スポーツ学部 スポーツ学科	スポーツ学研究科	スポーツ学専攻	修士	教授：6 准教授：5	5	5	5	10	10	10	4	7	4	80.0	140.0	80.0
佐賀大学	佐賀	教育学部 学校教育課程	学校教育学研究科	教育実践探究専攻	教職修士	教授：3 准教授：7	20	20	20	40	40	40	20	20	20	100.0	100.0	100.0
福岡教育大学	福岡	教育学部	教育学研究科	教育実践専攻	教職修士	教授：23 准教授：3	40	50	50	80	90	100	40	46	48	100.0	92.0	96.0
久留米大学	福岡	人間健康学部 スポーツ医科学科	比較文化研究科	比較文化専攻	博士(前期)	教授：70 他：7 補助教員：10	30	30	30	60	60	60	9	9	4	30.0	30.0	13.3
九州産業大学	福岡	人間科学部 スポーツ健康科学科	国際文化研究科	国際文化専攻	博士(前期)	—	15	15	15	30	30	30	11	12	11	73.3	80.0	73.3
熊本学園大学	熊本	社会福祉学部 ライフ・ウェルネス学科	社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	修士	—	10	5	5	20	15	10	2	1	4	20.0	20.0	80.0
長崎国際大学	長崎	人間社会学部 国際観光学科	人間社会学研究科	観光学専攻	修士	教授：7 准教授：6 講師：1	10	10	10	20	20	20	4	6	8	40.0	60.0	80.0

(資料4)

人材需要の動向等に関するアンケート（調査内容）

人材需要の動向等を検討するため、本専攻の基礎となる学部・学科である本学健康福祉学部スポーツ健康福祉学科卒業生の就職先企業・団体を対象とするアンケート調査を実施した。本調査は Google フォームによる web 調査として実施し、対象者にメールにて協力を求め、令和4（2022）年12月に回答を依頼した。以下、その詳細について「1. 協力依頼メール」「2. アンケート調査項目」の順に示す。

1. 協力依頼メール

件名：

「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」の設置に関するアンケートについて（ご協力お願い）

本文：

本学では、大学院にスポーツ系の修士課程の設置を構想しており、事業所における興味関心度や修了生の採用意向等について調査したいと考えています。本調査で知り得た情報は他の目的に使用することは一切なく、無記名式で個人が特定されることはありません。つきましては、下記の「設置を計画している大学院の概要」をご覧のうえ、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

【設置を計画している大学院の概要】（現在計画中の予定であり、変更することもあります。）

- (1) 開設年度： 令和6（2024）年4月
- (2) 組織名称（仮称）： 生活支援科学研究科 スポーツ科学専攻 修士課程
- (3) 学位名称： 修士（スポーツ科学）
- (4) 養成する人材像： 本専攻は、スポーツに対する科学的な知識と実践力を持ち、すべての人に対して生涯にわたってスポーツを活用した豊かな生活を支援できる高度専門職業人を養成する。
- (5) 修業年限： 2年
- (6) 定員： 2名（収容定員4名：男女共学）
- (7) 設置場所： 佐賀県神埼市神埼町尾崎 4490-9（西九州大学神埼キャンパス内）
- (8) 学生納付金： 入学料 200,000 円、授業料 610,000 円
- (9) 社会人学生への配慮： 平日夜間と土日の受講のみでほとんどの単位が取得可能
- (10) 競合校： 福岡大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻
九州共立大学大学院スポーツ学研究科スポーツ学専攻

2. アンケート調査項目

ア. 対象：西九州大学健康福祉学部スポーツ健康福祉学科卒業生の就職先企業・団体

本専攻に関する下記の質問事項等について、該当する選択肢をお選びください。

問 1. 貴社・貴施設の業種についてお伺いします。

- | | |
|------------|----------------|
| 1. スポーツ関連 | 2. 健康フィットネス関連 |
| 3. 教育関連 | 4. 自治体関連 |
| 5. 医療・福祉関連 | 6. 社会教育・生涯学習関連 |
| 7. その他 | |

問 2. 西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）に対して、どの程度興味や関心をお持ちいただけますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 大いに興味・関心がある | 2. 少し興味・関心がある |
| 3. あまり興味・関心がない | 4. 全く興味・関心がない |

問 3. 西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）修了生の採用について、どのようにお考えですか。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 採用対象になる | 2. おそらく採用対象になる |
| 3. 採用対象として検討してもよい | 4. あまり採用対象にはならない |
| 5. 採用対象にはならない | 6. まだわからない |

問 4. 「西九州大学大学院生活支援科学研究科スポーツ科学専攻修士課程（仮称）」について、ご意見・ご要望等がございましたらご記入ください。

アンケート調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。